

郡山まゆみ会

発行者：「郡山まゆみ会」会長 紺野健二
住 所：郡山市富久山町八山田 字室ノ前
12-13 (電話:024-921-1777)
事務局：安田 博 (電話:024-983-3219)

「郡山まゆみ会」総会開かれる！

昨年からの「令和の米騒動」は一服したようですが、今年は台風が多発し、各地に被害が出ております。また最近では、三陸沖と富士五湖で大きな地震が相次ぎ、今後の地震活動への不安もつきません。さらに世界に目を向けると、ロシアによるウクライナ侵攻は今だに続いており、停戦の目処すら立たない状況です。ペルシャ湾を挟んだイスラエル・アメリカとイランの紛争においては、一度は停戦合意に達したと報じられたものの、その後も報復の連鎖が続き、完全な沈静化には至っておりません。

こうした激動の世情の中、会員の皆さまはいかがお過ごしでしょうか。

さて、本年の定例総会が6月28日(日)午前11時より、郡山ビューホテルアネックスにて開催されました。本年もご来賓として、渋川卓也校長先生。同窓会長の五輪美智子様、副会長の渡辺譲治様にご臨席いただきました。

斎藤正哉様の開会の言葉に続き、紺野会長による挨拶、来賓として同窓会長の五輪様よりご挨拶を頂きました。その中では、創立100周年の御礼とともに、「まゆみの精神」についてのお話がありました。続いて渋川校長先生より、入学者の減少といった課題や、ボート部をはじめとする部活動の活躍など、母校の現状について丁寧なご説明をいただきました。

その後の議事では、事業報告、事業計画、決算、予算、ならびに役員改選についての審議が行われ、全て承認されました。

議事終了後は集合写真を撮影し、休憩を挟んで懇親会へと移りました。懇親会は、穂積元様の開会挨拶に始まり、菅野敏雄様の乾杯の音頭によって和やかに幕をあげました。

会場になった6階の部屋は、美しい庭園に囲まれた静かで気品あふれる空間で、見た目も華やかな料理の数々が提供されました。会のはじめには、相互理解を深めるため出席者全員の自己紹介が行われ、そこからなごやかな懇談へと移りました。美味しい料理に舌鼓を打ちながら、懐かしい思い出話や互いの近況報告に花を咲かせ、非常に有意義な時間を過ごすことができました。尽きない名残惜しさの中でお開きの時間を迎え、最後は久納勇様の力強い三三七拍子によって、会を締めくくりました。



～会長あいさつ～

会長 紺野健二(昭和41年卒)

会員の皆様いかがお過ごしでしょうか。先日の総会では、母校の渋川校長先生、同窓会本部の五輪会長、渡辺副会長をはじめ、多くの会員の皆様にご出席を頂き、和気あいあいとした楽しいひと時を過ごすことができました。渋川校長先生からは在校生の活躍についてお話を伺い、我々同窓生として大変頼もしく、うれしい報告でございました。一方で、支部の近況をみますと、少子高齢化の中で若い会員の増強を図る事が喫緊の課題となっております。会員の皆様のなお一層のご支援をお願い申し上げます。

末尾になりますが、達校健児の各界でのご活躍と皆様のご多幸を祈念致しまして、会長の挨拶といたします。

令和7年、8年度役員

会 長：紺野健二(昭41年卒)
副会長：安田 博(昭41年卒)
同 　：大谷秀丸(昭42年卒)
監 事：川村芳則(昭43年卒)
同 　：高橋孝行(昭47年卒)

☆☆☆お 知 ら せ☆☆☆

- ① 本会の経費は、活動協力金、寄付金及びその他の収入で運営しています。寄付金等を希望の方は、会長まで連絡をお願いします。
- ② 会員の募集をしています。身近に同窓生がおいでになりましたら声をかけてお誘いください。

令和8年度 総会・懇親会に出席された方々の感想です (提出いただいた方々のみの掲載です)		
1	吉田征子	役員の方々のおかげで、同窓会総会が実現された事、心より感謝申し上げます。おかげ様で充実した楽しいひとときを過ごす事が出来ました。ありがとうございました。
2	熊田順子	高齢者となると外出することも大変となってきたこの頃です。今日は皆様方にお会いできまして、うれしくて、勝手なことに苦にしていた、外出のこともさらさら忘れて過ごしてしまいました。皆様方への母校を愛する情熱に改めて感動いたしました。良い思い出として残っていることに感謝しております。
3	川村芳則	本日は皆様とお話しして楽しく過ごしました。誠にありがとうございました。同窓会会長のご挨拶にございました安達高校の校歌「健児きたえよ 心と身」「健児かためよ 身と心」の一節、今更ながらですが、校歌を読み返し、身と心は固まっているか？を自分に問いかけました。
4	菅野敏雄	「郡山まゆみ会」の参加者が多数になるともっと楽しいと思います。
5	久納 勇	安達高校の先輩と会って、各界でご活躍されている様子をお聞きして感動を受けました。「郡山まゆみ会」の益々の発展をお祈り致します。
6	穂積 元	ご準備、毎回ご苦労様です。おかげ様で楽しく過ごすことができました。この会の将来が発展できますよう考え、協力したいと思います。
7	斎藤正哉	この会が楽しいひとときでした。もっとお話ししたいのですがこれからもよろしくお願いします。
8	安田 博	同窓会が開きに近づくにつれ、いつも深い感慨を覚えます。卒業後、それぞれ異なる人生の歩みを経て、長い歳月の後に再会した者同士が、なぜこれほど瞬時に打ち解け合えるのか、いつも不思議でなりません。これは、精神的・知的に最も多感な時期に、安達高校という同じ学び舎で同じ空気を共有した記憶が、私たちの心の奥底にしっかりと息づいているからではないでしょうか。宴が果て、先ほどまで親しく語り合っていた皆さまとお別れすることに、一抹の寂しささえ覚えるのは、それだけこの絆が尊いものだからだと感じております。同窓会とは、誠に不思議な、そして参加した者にしか分かち合えない格別な魅力に満ちた場所であると、改めて実感いたしました。また来年お会いしましょう。
校長先生、同窓会長さんにもコメントをいただきました。		
	渋川校長先生	大変お世話になりました。お力添えいただきながら子供達を育てていきたいと思ひます。
	五輪同窓会長	なつかしく あたらしく いつ参加させていただいても良い刺激をうける会です。今後ともよろしくお願いします。今年も達校生 ファーストでがんばります。